

# 県、微細プラ対策へ

## 来年度予算案 河川調査や対策協議会

「海なし県」の埼玉 壊れて細くなるなど 県は来年度、海を遡上して発生し、川や海に

微細なマイクロプラスチック 流れ込む。

チック（MP）対策に 調査は県環境科学館

乗り出す方針を固め 際センターが収集・分

た。県として初めての 析を担い、県内を通過

河川実態調査や、プラ して東京湾に流れ込む

製品の製造企業などに 5河川（荒川▽江戸川

呼びかけて対策協議会 ▽中川▽新河岸川▽綾

を設けするなど、関連 瀬川）の10カ所で行う。

事業費を来年度予算案 MPの分析を通じて発

に盛り込む。 生源を特定し、対策に

MPは大きさが5ミ 役立てる。プラ製品製

以下の微細なプラスチック 造企業や消費者団体な

ック。包装容器などの どと協議会も設置し、

プラスチックごみが、 プラごみ削減や飛散し

にくい容器の開発など 発生源は陸上。県土に

を検討する。 MPで熟化する海洋

環境が注目を集めがち 一の「川の国」埼玉が

だが、プラごみの主な 手を挙げ、将来的には

他県にも呼びかける考 他県にも呼びかける考

占める河川面積が全国 占める河川面積が全国

の「川の国」埼玉が 手を挙げ、将来的には

手を挙げ、将来的には 手を挙げ、将来的には

手を挙げ、将来的には 手を挙げ、将来的には

手を挙げ、将来的には 手を挙げ、将来的には

手を挙げ、将来的には 手を挙げ、将来的には

手を挙げ、将来的には 手を挙げ、将来的には

手を挙げ、将来的には 手を挙げ、将来的には

手を挙げ、将来的には 手を挙げ、将来的には

手を挙げ、将来的には 手を挙げ、将来的には

えだ。

NPO法人荒川クリ

ーンエイド・フォーラ

ム（東京）が2017年

に実施した荒川（埼玉

県秩父郡・東京都江戸

川区・江東区）の実態調

査では、約22万個のチ

ック製のペットボト

ルや食品の容器包装が

占めた。「三股智子」